

遠山邸大広間
端午の節句飾り
4/19(水)-5/7(日)



遠山邸 2 階
公開日



本年度の2階公開については、新型コロナウイルスの感染状況を見て判断し、ホームページでお知らせいたします。

遠山邸大広間
雛壇飾り

2/3(土)-3/10(日)



2023

4/1(土)-5/28(日)

遠山記念館の アヴァンギャルドたち

20世紀ヨーロッパの前衛美術家フォンターナ、カボグロッシ、ピカソの新収品を初公開するとともに、当館所蔵品の中から自由な造形意欲のあふれる作品を公開します。東アジアの書画には「逸品」というスタンダードから逸脱した造形を鑑賞する評価基準があります。当館の所蔵品による東西のアヴァンギャルド対決にご注目下さい。



ルーチョ・フォンターナ「空間概念 自然」

6/10(土)-9/3(日)

コレクション展1

幅広いジャンルを持つ遠山記念館のコレクションの中から、近代の日本画や工芸作品、また中国の陶磁器などを選んで展示します。



松花堂昭乘「布袋弹琴图」
(展示期間:6/10-7/23)

9/16日(土)-11/19(日)

特別展

瀬戸焼と美濃焼

愛知県の瀬戸は、中世より中国陶磁器の模倣をはじめ、日本の窯業をリードしてきた地域です。戦国時代にはその技術が隣接する美濃地域へと広がり、多彩な陶芸作品を生み出しました。本展では徳川将軍家の旧蔵である瀬戸焼茶入の名品「肩衝茶入 銘 大嶋」をはじめ、瀬戸焼と美濃焼の優品からその造型の差をご覧ください。



肩衝茶入 銘 大嶋

2024

12/2日(土)-1/21(日)

コレクション展2

年末年始に合わせ、遠山記念館のコレクションの中から新年の干支である龍に因んだ美術作品、また正月をお祝いするのにふさわしい作品を選んで展示します。



寿山福海雲龍模様縫紗壁掛(部分)

2/3(土)-3/10(日)

雛の世界

江戸期に開花した人形文化は、日本独自の雛人形を母体として、多種多様な人形を生み出してきました。大型で豪華な享保雛から芥子雛まで様々な雛人形の他、嵯峨人形、御所人形、賀茂人形などを展示いたします。日本人形の魅力をご堪能下さい。遠山邸の大広間では、十畳の座敷いっぱい飾られた雛壇を展示します。



享保雛

3/20(水・祝)-5/19(日)

子の日凶屏風と宮廷文化

当館で所蔵する「源氏物語子の日凶」は、徳川家定の正室である鷹司任子(たかつかさあつこ)の婚礼調度として、狩野養信によって制作されたことが判明する、近世狩野派の重要作例の一つです。2024年のNHK大河ドラマ「光る君へ」の放送に合わせ、本作をはじめ平安時代の古筆、王朝文化の香りを伝える香道具などを展示します。



狩野養信「源氏物語子の日凶」(部分)

※新型コロナウイルス等の影響により予定が変更となる場合がありますので、最新の情報は当館ホームページまたはお電話等にてご確認下さい。

開館時間 午前10:00～午後4:30(入館は4:00まで)

入館料 特別展 大人1,000円(800円) 学生800円(640円)

通常 大人800円(640円) 学生600円(480円)

庭園邸宅のみ 大人600円(480円) 学生400円(320円)

中学生以下は無料、()は団体料金です。

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館、翌日休館)

また下記の日程で休館させていただきます。

4/18(火)、5/9(火)、7/25(火)、12/21(木)～2024/1/5(金)

2/1(木)～2/2(金)、3/12(火)、4/16(火)、5/8(水)